



学校だより

平成30年2月13日
練馬区立田柄第二小学校
校長 谷田 弘子

HP <http://www.tagara2-e.nerima-tky.ed.jp> e-mail info@tagara2-e.nerima-tky.ed.jp

教育目標:元気な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.479

平成29年度 教育活動アンケートの結果報告

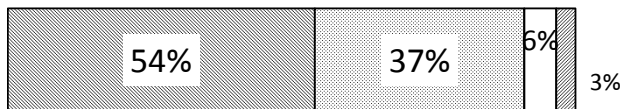
12月に保護者の皆様にご協力いただきました「教育活動アンケート」についての結果をご報告させていただきます。また、同時期に全校児童に対して行いました「授業と生活についてのアンケート」、教職員に行いました「学校評価アンケート」についてもご報告いたします。

グラフは右の項目で表示しています

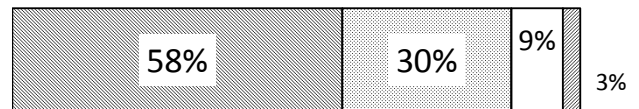
そう思う A	ややそう思う B	あまり思わない C	そう思わない D
--------	----------	-----------	----------

1 授業や生活についてのアンケート（児童）の結果 回収率93.3%

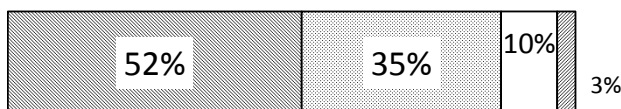
①先生の授業が楽しいと感じている。



⑤先生は悩んだり困ったりしている時に話をきいてくれる。



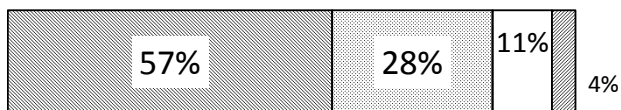
②学校で勉強したことが、身に付いていると思う。



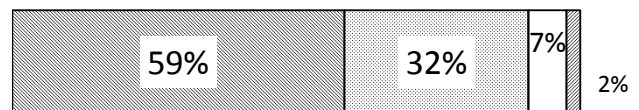
⑥「自分の命は、自分で守る」ために安全に気を付けて生活することができる。



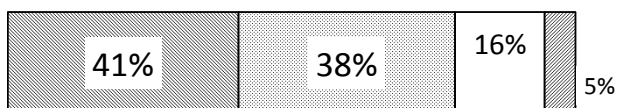
③行事に進んで参加し、成長している。



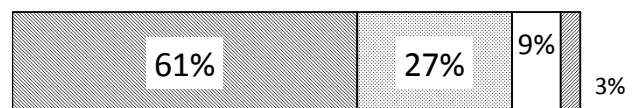
⑦いじめのない明るい学級にしようと努力している。



④先生や主事さん、友達に元気よくあいさつができる。



⑧先生は、よいところをほめたり認めたりしてくれる。



【評価の高かった設問】（A、Bの合計）

⑥「自分の命は、自分で守る」ために安全に気を付けて生活することができる。（94%）

①先生の授業が楽しいと感じている。（91%）

⑦いじめのない明るい学級にしようと努力している。（91%）

【比較的、評価の低かった設問】（C、Dの合計）

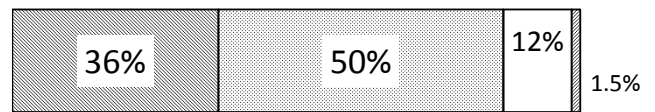
④先生や主事さん、友達に元気よくあいさつができる。（21%）

2 教育活動アンケート（保護者）の結果 回収率89.5%

①お子さんは、学習を通して満足感を味わっている。



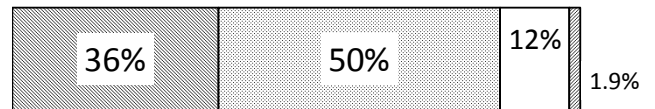
⑨学校は、「自分の命は、自分で守る」ための安全についての指導を行っている。



②お子さんは、学校で学習したことが身に付いている。



⑩学校は、いじめのない明るく楽しい学級作りに取り組んでいる。



③お子さんは、学校行事を通して、充実感や達成感を味わい、成長している。



⑪学校は、教育の場としてふさわしい環境になっている。



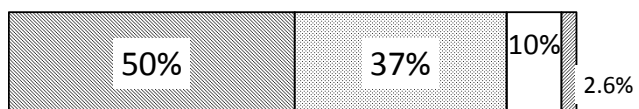
④お子さんは、返事とあいさつができる。



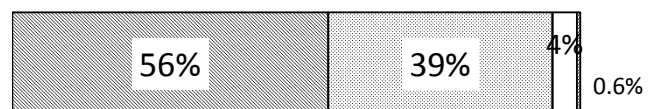
⑫学校は、施設や遊具などの安全管理を行っている。



⑤あなたは学校行事や授業参観、保護者会などに積極的に参加している。



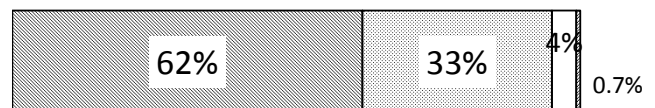
⑬学校は、地域に根ざした教育活動（地域未来塾を含む）を進めている。



⑥学校は、「学校だより」や「学年だより」などで、行事や授業についての情報を保護者に伝えている。



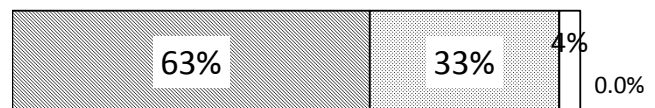
⑭学校は、学校の教育方針やアンケートの結果などの説明を行っている。



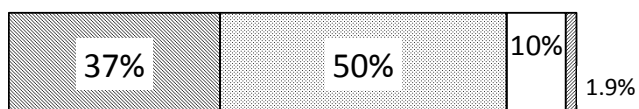
⑦学校は、保護者が授業や行事を参観する機会を積極的に設けている。



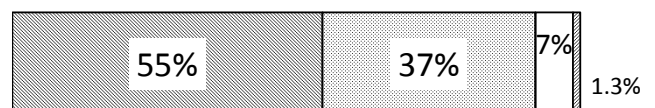
⑮学校は、PTAや地域と協力して教育活動を進めている。



⑧学校は、お子さんや保護者の方々の悩みや相談に応えている。



⑯教職員は、お子さんを理解して指導している。



【評価の高かった設問】（A、Bの合計）

③お子さんは、学校行事を通して、充実感や達成感を味わい、成長している。（98%）

⑦学校は、保護者が授業や行事を参観する機会を積極的に設けている。（96%）

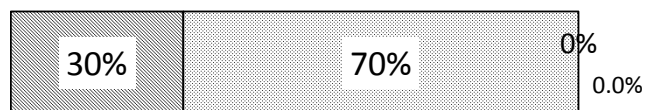
⑮学校は、PTAや地域と協力して教育活動を進めている。（96%）

【比較的、評価の低かった設問】（C、Dの合計）

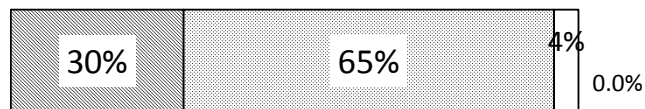
⑩学校は、いじめのない明るく楽しい学級作りに取り組んでいる。（14%）

3 教員の学校評価の結果 回収率100%

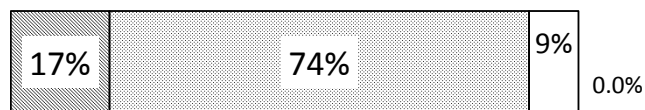
①教育目標・学級経営を理解し意識して指導している。



②授業時数が確保され、偏りなく授業が進められている。



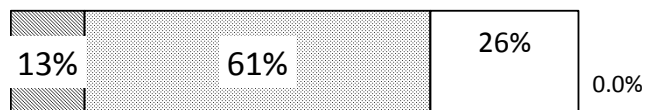
③学校行事を工夫し、成果を上げている。



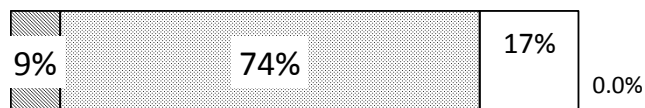
④確かな学力の定着が図られている。



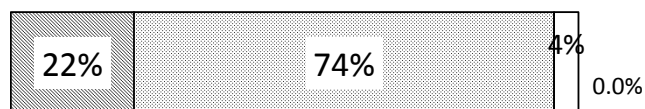
⑤授業改善に努め、子供が満足感を味わえる授業をしている。



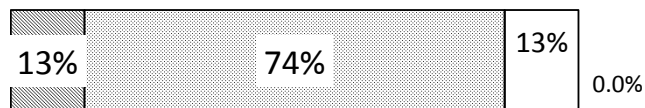
⑥児童理解に努め、個に応じた指導をしている。



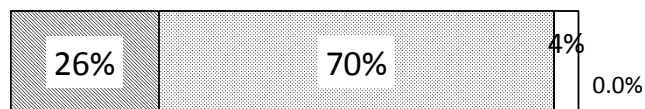
⑦研究や研修に励み、専門性を高めようとしている。



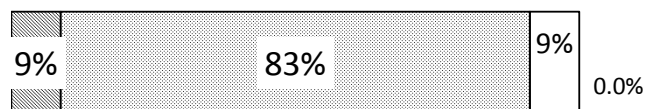
⑧PTAや地域と協力して教育活動を進めている。



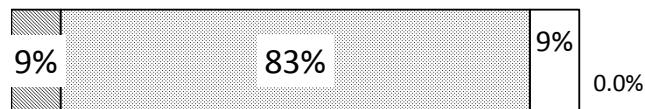
⑨保護者に対して、親切・丁寧で迅速な対応をしている。



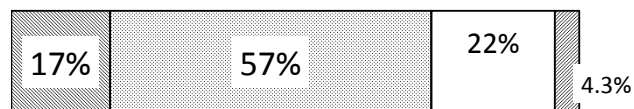
⑩道徳教育の日常化を通して豊かな心を育てている。



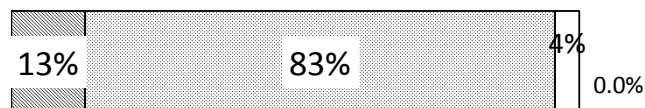
⑪「自分の命は、自分で守る」態度の育成を図っている。



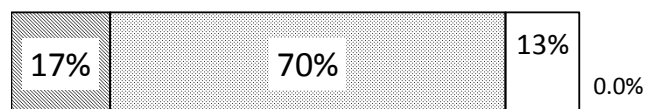
⑫子供たちに進んであいさつや返事をする習慣を付けている。



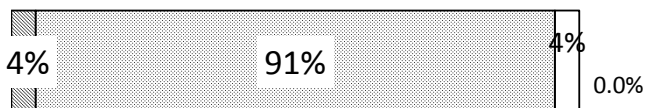
⑬いじめや問題行動等の予防に努め、また、発見の際の対応を速やかに行えた。



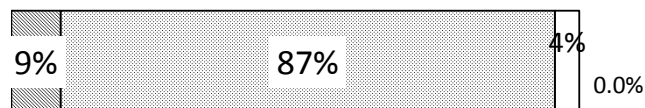
⑭教育の場に相応しい環境づくりを行っている。



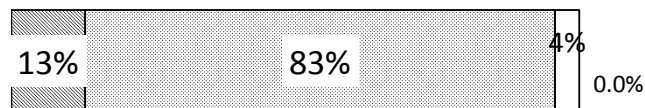
⑮施設や遊具等を安全に管理し、事故防止を図っている。



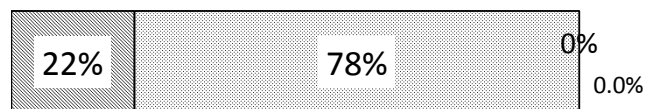
⑯地域に根ざし、特色を生かした学校づくりに協力している。



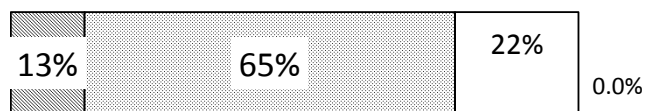
⑰保護者に対して積極的に学校を公開している。



⑱学校だよりや学年だより等で必要な情報を積極的に伝えている。



⑭小中連携や交流活動を積極的に進めている。。



【評価の高かった設問】（A、Bの合計）

①教育目標・学級経営を理解し意識して指導している。（100%）

⑱保護者に対して積極的に学校を公開している。（100%）

【比較的、評価の低かった設問】（C、Dの合計）

④確かな学力の定着が図られている。（35%）

⑤授業改善に努め、子供が満足感を味わえる授業をしている。（26%）

⑫子供たちに進んであいさつやへんじをする習慣を付けている。（26%）

4 来年度に向けて

○児童の学力向上・教員の授業改善について

昨年度、本年度と、算数科を中心に学力向上・授業改善のための研究に取り組んでまいりました。成果としては、「先生の授業が楽しいと感じている」児童や、「お子さんは、学校で学習したことが身に付いている」と感じた保護者がそれぞれA、Bの合計で90%を超えていることからうかがえます。意識だけでなく、4年生以上の学年で算数ベーシックドリルの過去3年間の正答率の推移を比較した時、どの学年でも6～7ポイントの上昇が見られたことをはじめ、数値上の裏付けもありました。教員の評価をみると、「確かな学力の定着が図られている」や「授業改善に努め、子供が満足感を味わえる授業をしている」のC、Dが高くなっていますが、これは研究を重ねてきた結果、授業や子供の見取りに対しての教員の意識が高くなり、その分、自己評価が厳しくなったものと考えられます。

1年生から6年生までの共通したノート指導、授業の中に適切に児童同士が学び合う場面を取り入れることで表現力や思考力を伸ばすこと等、学力向上につながる取組を来年度以降も継続していきます。

このような成果がある一方、以前、学力調査の結果をお示ししましたが、領域や分野によって、都や区の平均を下回っているものがあるという現状もあります。子供たちの苦手分野を見極め、具体的な方策を立て、授業改善を進めてまいります。学力を高めていくためにはご家庭での取組も欠かせません。宿題を忘れずにやる、計算や漢字等の基礎・基本は家でも繰り返し練習して確実に身に付ける、お子さんの成長に合わせて一定時間学習に取り組む習慣を付ける等のことをお願いいたします。

○行事について

「子供は行事で育つ」と言われることがあります。行事で様々な体験をすることで、子供たちの中に、協力する心、感謝する心、多少のつらさは頑張っ乗り越える心等が育つからだと思います。幸い、本校は地域の方々、そして、PTA活動の支えもあって、区内では群を抜いて行事が充実しています。保護者のアンケート結果をみても、A、Bの合計で、「お子さんは、学校行事を通して、充実感や達成感を味わい、成長している」の結果が最上位になっていました。

一方、行事を充実させようとすると、当然ながら時間も手間もかかってきます。もちろん授業時間は法に則ってきちんと確保しておりますが、保護者の方々から「学習が疎かになっていないか」と懸念されるご意見もいただいております。来年度の計画を立てるに当たっては、一つ一つの行事の価値を見直し、精選していくことも同時に考えていこうと考えています。

○あいさつについて

これは、昨年度の学校評価でも課題になったことです。登校時、廊下で児童とすれ違うと、多くは気持ちのよいあいさつをしてくれます。反面、声をかけても無言のまま通り過ぎる児童も少なからずいます。場に応じた気持ちのよいあいさつができるというのは、心が健全に育っていくことと無関係ではありません。

「学校は、いじめのない明るく楽しい学校作りに取り組んでいる」の設問で、C、Dに回答された保護者の方が14%いらっしゃいましたが、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に向けての取組を確実にやっていくことはもちろんのことですが、あいさつを通して人を思いやる心、自分の気持ちを素直に相手に伝える態度を育てていきたいと考えています。各ご家庭におかれましても、あいさつの大切さをお子さんに伝えていただくのと同時に、お子さんとの心のコミュニケーションを活発にしていってください。